



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年5月12日

上場会社名 株式会社京都ホテル 上場取引所 東  
 コード番号 9723 URL http://www.kyotohotel.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 福永 法弘  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名) 西川 治彦 (TEL)075(211)5111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年12月期第1四半期の業績 (平成28年1月1日～平成28年3月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	2,564	2.4	103	—	△19	—	△66	—
27年12月期第1四半期	2,505	1.1	△25	—	△111	—	△37	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	△5.99	—
27年12月期第1四半期	△3.60	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	18,876	1,714	9.1
27年12月期	18,845	1,813	9.6

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 1,714百万円 27年12月期 1,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	—	—	3.00	3.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,110	△1.2	150	△9.1	△20	—	△50	—	△4.53
通期	10,450	△2.9	440	△21.7	150	△11.0	160	—	14.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年12月期 1 Q	11,091,400株	27年12月期	11,091,400株
28年12月期 1 Q	61,390株	27年12月期	61,390株
28年12月期 1 Q	11,030,010株	27年12月期 1 Q	10,327,610株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを完了していますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益、雇用情勢の改善傾向を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。円高傾向をはじめ、中国や新興国の景気後退懸念、日本銀行のマイナス金利導入発表等、金融市場の変動要因を背景とした中、景気の先行きは不透明なものとなりました。

京都のホテル業界におきましては、宴会部門で件数、人数が前年を上回りました。また、宿泊部門につきましても個人旅行客が堅調であったほか、外国人宿泊客も引き続き好調に推移しました。このような環境下、当社におきましても、アジア圏からの外国人宿泊客の増加等もあり、宿泊部門は引き続き好調を維持いたしました。宴会部門におきましても婚礼宴会で件数・人数が前年比増加いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,564百万円（前年同期比58百万円増）となりました。一方、収益面におきましては、前年に続き原価管理、経費削減に努めましたことに加え、増収効果もあいまって、営業利益は103百万円（前年同期は営業損失25百万円）経常損失は19百万円（前年同期は経常損失111百万円）となりました。

ホテル事業の部門別の営業概況は次のとおりです。

## (宿泊部門)

京都ホテルオークラの宿泊売上高は、ヨーロッパやアジアからの外国人客（団体・個人）に加え、国内エージェント経由の個人・団体ともに顕著に推移し、売上高は前年同期比51百万円増となりました。

からすま京都ホテルにおきましては、客室改修工事に伴う販売制限がありました。国内エージェント団体・個人客が順調に推移し、また改装による客単価の上昇もあいまって、売上高は前年同期比22百万円増となりました。

これらの結果、宿泊部門全体の売上高は770百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

## (宴会部門)

京都ホテルオークラの一般宴会は、人数の減少により売上は低調に推移しましたが、婚礼宴会で件数が大幅に伸びたことにより、売上高は前年同期比69百万円増となりました。

からすま京都ホテルでは、一般宴会で大型宴会獲得による件数、人数の増加により、売上高は前年同期比8百万円増となりました。

この結果、宴会部門全体の売上高は874百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

## (レストラン部門)

京都ホテルオークラでは、館内店舗におきまして、京料理「入舟」、テラスレストラン「ベルカント」で客数が減少いたしました。また、惣菜販売を中止したカフェ「レックコート」が前年を下回る売上となりました。鉄板焼「ときわ」、トップラウンジ「オリゾンテ」、中国料理「桃李」が順調に推移したことで、売上高は前年同期比4百万円増となりました。一方、館外店舗では、京料理「粟田山荘」が順調に推移したものの、高島屋京都店内の惣菜店「京都ホテルオークラ1888」を2月に閉店したこともあり、売上高は前年同期比26百万円減となりました。

からすま京都ホテルでは、中国料理「桃李」で個室利用のグループ客の増加により、閉店した「レックコート」の売上減少をカバーすることができ、売上高は前年同期比1百万円増となりました。

この結果、レストラン部門全体の売上高は782百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

## (その他部門)

その他部門の売上高は137百万円（前年同期比34.7%減）となりました。

売上減少の大きな要因は、不採算となっておりました「病院食事業」を前年3月で撤退したことによるものです。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第1四半期累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)		前年同期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	770,665	30.1	10.5
宴会部門	874,531	34.1	9.9
レストラン部門	782,256	30.5	△2.6
その他部門	137,025	5.3	△34.7
合計	2,564,479	100.0	2.4

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ30百万円増加し、18,876百万円となりました。負債につきましては、前事業年度末に比べ129百万円増加し、17,161百万円となりました。また、純資産は前事業年度末に比べ99百万円減少し、1,714百万円となり、自己資本比率は9.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期の業績予想につきましては、平成28年2月15日公表しました予想値をほぼ達成可能とみていることから、修正は行っておりません。今後の経済状況や旅行客等の動向情報を収集した上で、業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

借入金の借換え

当社は、平成28年3月31日に期日が到来しましたシンジケート・ローンについて、下記のとおり平成28年3月29日に契約を締結し、平成28年3月31日に借入を実行いたしました。

(1) 借換えの資金使途

既存の短期借入金、平成28年3月31日期日のシンジケート・ローン(平成28年3月31日末借入金残高10,540百万円)及び平成30年1月31日期日予定のシンジケート・ローン(平成28年3月31日末借入金残高1,590百万円)のリファイナンス

(2) 借入先の名称

株式会社池田泉州銀行、株式会社みずほ銀行他を貸付人とするシンジケート・ローン

(3) 借換え金額

13,700百万円

(4) 借入実行日

平成28年3月31日

(5) 返済方法及び返済期限

平成28年9月より6ヶ月毎に分割返済し、残額を期日(平成33年3月31日)に一括返済。

(6) 担保提供資産

不動産信託受益権に第1順位の質権設定

(7) 財務制限条項

(純資産額維持)

平成28年12月決算期以降、各事業年度の決算期及び中間期の末日における貸借対照表の純資産の部の金額を、当該決算期の直前の決算期の末日又は平成27年6月に終了する中間決算期の末日の貸借対照表における純資産の部の金額のいずれか大きい方の75%の金額以上にそれぞれ維持すること。

(利益維持)

平成28年12月決算期以降、各事業年度の決算期の損益計算書上の経常損益に関して、それぞれ2期連続して経常損失を計上しないこと。

(有利子負債制限)

平成28年12月決算期以降、各事業年度の決算期及び中間期の末日における貸借対照表の有利子負債の合計金額を貸借対照表における純資産の部の金額で除した数値を10.0倍以下にそれぞれ維持すること。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,359,429	1,486,208
売掛金	586,994	500,710
原材料及び貯蔵品	107,566	70,854
前払費用	44,496	40,739
その他	20,132	18,635
貸倒引当金	△708	△497
流動資産合計	2,117,911	2,116,650
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	10,979,708	10,918,115
構築物(純額)	72,426	68,999
機械装置及び運搬具(純額)	51,298	48,520
器具及び備品(純額)	218,858	289,509
土地	5,071,341	5,071,341
リース資産(純額)	164,104	178,780
有形固定資産合計	16,557,738	16,575,267
無形固定資産		
ソフトウェア	16,204	14,078
リース資産	23,473	37,257
電話加入権	4,429	4,429
商標権	416	404
無形固定資産合計	44,523	56,169
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,000
長期前払費用	9,458	8,733
前払年金費用	13,227	17,452
差入保証金	81,095	80,929
その他	12,886	11,901
貸倒引当金	△1,086	△1,086
投資その他の資産合計	125,580	127,930
固定資産合計	16,727,843	16,759,368
資産合計	18,845,754	18,876,019

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	343,689	200,690
短期借入金	1,100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	10,880,420	788,420
リース債務	43,699	51,173
未払金	823,007	694,148
未払費用	211,417	88,156
未払法人税等	22,385	9,229
前受金	63,004	73,067
預り金	85,377	46,208
前受収益	47,059	36,879
賞与引当金	-	50,100
ポイント引当金	18,334	19,714
店舗閉鎖損失引当金	7,767	6,900
その他	34,830	30,007
流動負債合計	13,680,993	2,094,696
固定負債		
長期借入金	2,164,672	13,696,817
リース債務	163,182	187,328
長期末払金	46,615	207,856
役員退職慰労引当金	4,550	-
店舗閉鎖損失引当金	114,450	114,450
長期預り保証金	853,884	855,484
繰延税金負債	4,233	5,328
固定負債合計	3,351,587	15,067,264
負債合計	17,032,581	17,161,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,268,924	1,268,924
資本剰余金		
資本準備金	510,229	450,229
その他資本剰余金	-	60,000
資本剰余金合計	510,229	510,229
利益剰余金		
利益準備金	24,708	-
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	35,640	△38,766
利益剰余金合計	60,348	△38,766
自己株式	△26,329	△26,329
株主資本合計	1,813,173	1,714,058
純資産合計	1,813,173	1,714,058
負債純資産合計	18,845,754	18,876,019

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
<b>売上高</b>		
室料売上	671,708	740,221
料理売上	1,122,418	1,049,076
飲料売上	200,610	209,481
雑貨売上	118,950	139,937
その他売上	391,816	425,762
売上高合計	2,505,504	2,564,479
<b>売上原価</b>		
料理原料	354,977	316,091
飲料原料	44,164	46,314
雑貨原価	95,569	106,903
その他原価	62,472	76,490
原価合計	557,183	545,800
売上総利益	1,948,321	2,018,678
販売費及び一般管理費	1,973,699	1,914,727
営業利益又は営業損失(△)	△25,378	103,951
<b>営業外収益</b>		
受取利息	11	18
補助金収入	823	2,260
受取手数料	1,043	963
その他	1,630	739
営業外収益合計	3,509	3,983
<b>営業外費用</b>		
支払利息	78,134	75,873
支払手数料	10,600	51,099
雑損失	725	412
営業外費用合計	89,460	127,385
経常損失(△)	△111,329	△19,451
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	3,551	16,286
借入金中途解約損	-	27,424
特別損失合計	3,551	43,710
税引前四半期純損失(△)	△114,880	△63,162
法人税、住民税及び事業税	1,220	1,767
法人税等調整額	△78,927	1,094
法人税等合計	△77,707	2,862
四半期純損失(△)	△37,173	△66,024



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。